

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム幸  
 作成日 平成 28年 1月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組み目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	保育園との交流は定期的に行っており、子供会との交流も今年度から行い、学校の見守り隊も行っているが、地域との交流も含めもっと深めていきたい。	様々な世代間交流が出来るような活動、行事を行い、地区の中で高齢者福祉の社会資源としての認知度を高めていきたい。	・地域住民向けの講座や相談会を企画する。 ・学生との合同行事を企画する。	12ヶ月
2	13	米や乾物、自販機のジュース類はストックしているが、災害時の備蓄品が不十分である。	3日分程度の食料や排泄用具、生活用品を備える。	・地域住民への避難訓練の呼びかけを行っているが、より多くの方に参加して頂けるよう努める。 ・水の備蓄を行う。 ・レトルト食品の備蓄を行い、古い物から使っていくサイクル備蓄を確保していく。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入してください。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。